

## 損害保険トータルプランナー新規認定取得記念式典を開催 ～特別記念セミナー&パネルディスカッションを開催～

一般社団法人日本損害保険協会(会長：白川 儀一)は、12月16日(金)に「損害保険トータルプランナー新規認定取得記念式典」をオンライン形式で開催しました。

本イベントは、損害保険大学課程コンサルティングコース試験に合格し、2021年9月から2022年8月までに新規認定取得した損害保険トータルプランナーを対象に、認定取得を祝うとともに、新規認定取得者の今後の業務に役立てていただくために、「記念式典」のほか、「特別記念セミナー」「パネルディスカッション」をオンライン形式で開催したものです。当日は、全国から136名の損害保険トータルプランナーが参加しました。

はじめに、白川協会長から、主催者挨拶として、自然災害の激甚化やデジタル化の進展など、損害保険業界を取り巻く環境の変化を踏まえ、「日本損害保険協会が目指す『安心かつ安全な社会の形成』の実現に向けては、日々地域に根差した活動をされている損害保険募集人の皆さまのご協力が欠かせないものと認識している。中でも全国約200万人の損害保険募集人のフロントランナーである損害保険トータルプランナーの皆様には、お客様を総合的にお守りしていくため業界をリードしていただきたい」とお祝いと励ましのメッセージがありました。

続いて、金融庁監督局の三浦 知宏 保険課長から、「保険募集人を代表し、また牽引する立場となられた損害保険トータルプランナーの皆様におかれては、今後も研鑽に励んでいただき、保険業界の更なる発展と保険契約者の保護に貢献していただけることを大いに期待しております」と祝辞がありました。

特別記念セミナーでは、おごだ法律事務所の大胡田 誠 弁護士から「心の壁を越えるには～障がいのある人もない人も自分らしく共に生きる社会～」というテーマで、全盲である自身の経験も踏まえながら、障害者差別解消法の概要と保険分野で求められる合理的配慮について、例示を交えて解説いただきました。講演の最後には、「もし、街なかで障がいを持つ人を見かけたら、一瞬、その人のことを思ってみてほしい。そんな一つひとつの瞬間が社会を変えていく一歩になり、お互いの心を豊かにしてくれるきっかけにもなると思う」という心に響くメッセージをいただきました。

パネルディスカッションでは、TRCプロダクツ株式会社の雨宮 新一郎 氏、有限会社アスクの古瀬 智恵美 氏、株式会社ヒロマレ保険事務所の山本 洋希 氏の3名の損害保険トータルプランナーに登壇いただき、高齢者対応など所属代理店で抱えている課題や、自身が考える「理想の募集人像」についてディスカッションを行いました。「理想の募集人像」については、「デジタル化が進展する中、保険募集に特化するだけでなく、お客様や世の中の役に立つためにはどのようなことが必要なのかを考え続けることが重要である。特に損害保険トータルプランナーは、業界最高峰の資格を持つ者として使命感を持って顧客本位に取り組んで欲しい」といったコメントがありました。

今後も、当協会は、募集品質の向上に向けて取り組んで参ります。



白川協会長による主催者挨拶



金融庁 三浦保険課長による祝辞



大胡田弁護士による特別記念セミナー



トータルプランナーによるパネルディスカッション

**【参考】「損害保険トータルプランナー」とは**

当協会では、損害保険募集人の品質向上を図るため、損害保険大学課程を実施しています。

損害保険大学課程は、損害保険募集人が募集に関する知識・業務のさらなるステップアップを図っていただくことを目的に創設した制度で、「専門コース」と「コンサルティングコース」の2つがあります。

「コンサルティングコース」は、「専門コース」で修得した損害保険に関連する法律・税務等の知識を基に、より実践的な知識や業務スキルを修得することで、保険募集のプロフェッショナルを目指すものです。1年間の教育プログラムを受講・修了のうえで試験に合格し、所定の認定要件を充たした方は、「損害保険トータルプランナー」として認定されます。

現在、2023年4月開講分の「コンサルティングコース」教育プログラムの受講申込を指定教育機関の日本代協のホームページ(<http://www.sonpo-daigakukatei.jp/Introduction.aspx>)で受付中です(2023年2月10日(金)申込締切)。

また、当協会では、消費者の皆様が、郵便番号や住所から、損害保険トータルプランナーが所属する代理店を探ることができる検索ページを設けています(<https://sonpo-totalplanner-ag.jp/>)。

